
グローバルリーダーシップ通信 第178号

NPO法人グローバルリーダーシップ・アソシエーション(GLEA)のメールマガジン第178号をお届けします。ご意見・ご感想は<glea@npo-glea.org>まで。

◆今号の内容

1. トピックス
2. 最新の活動情報
3. これからの活動情報
4. コラム『真のリーダーシップとは』大阪大学特任教授 藪中 三十二 氏

1. トピックス

◆「Visionary World Cup 2024」を開催しました。
詳しくは<2.最新の活動情報>をご覧ください。

2. 最新の活動情報

◆「Visionary World Cup 2024」

9月8日(日)～9日(月) 淡路島にて1泊2日の合宿形式で開催され、12大学18名の参加がありました。

参加者アンケートでは、「大変満足している」(63%)「満足している」(37%)との回答があり、「交渉術についてプロの先生から学び実践でき非常に勉強になった」「淡路島が綺麗だった上に、チームメイトと真剣に交渉ができすごく楽しかった」等、多くの感想が寄せられました。

3. これからの活動情報

◆INC審査員向け説明会

日時: 10月26日(土)

場所: 上智大学及びオンライン

◆第23回大学対抗交渉コンペティション

日時: 11月16日(土)・17日(日)

場所: 上智大学及びオンライン

3. 今月のリーダーシップ情報【コラム／column】

大阪大学特任教授
グローバル寺子屋「藪中塾」塾長

藪中 三十二 氏

『真のリーダーシップとは』

リーダーシップ、この言葉を勘違いする人が少なくない。真のリーダーか否かは、困難に直面した時に明らかになる。平時、凧の時に組織を正しい方向に導き、成果を上げる、これも立派なことだが、真のリーダーだ、と持ち上げるほどのことはない。

真のリーダーは、組織が大きな困難に直面した時に、慌てず、打開策を見出し、部下や仲間に関心感を与えなくてはならない。

また、困難に直面する、というのは、誰かが間違いをしたか、組織が対応力をなくし、機能不全に陥ったかの何れかである事が多い。その時、他を叱責し、責任を押し付ける、そうした人間が少なくないが、これこそ、リーダー失格である。

こんな当たり前のことを改めて書くのは、まさに日本の社会でリーダー失格のケースが多く見受けられるからである。

日本は、大きな試練に直面している。日本という組織が機能不全に陥っていて、「失われた30年」が継続中である。そのことに正面から向き合い、何が問題か、その責任は何処にあるかを明確にし、その上で本格的な対処策を示さなくてはならないが、今の日本では、責任を回避し、ごまかしの政策ばかりである。私は、「ガバナンス」などローマ字の言葉が蔓延し、何が本当の問題か、分からなくなっていることが大問題だと思っている。企業も「ガバナンス」重視に陥り、4半期毎の収支にこだわり、大胆な投資に臆病になり、世界との競争に負けてしまっている。政治、ビジネスの世界で真のリーダーが出現してほしいと願うばかりである。

=====

発行元：NPO法人グローバルリーダーシップ・アソシエーション

発行責任者：野村 美明

(HP) <https://npo-glea.org/>

(TEL) 070-6560-2633